

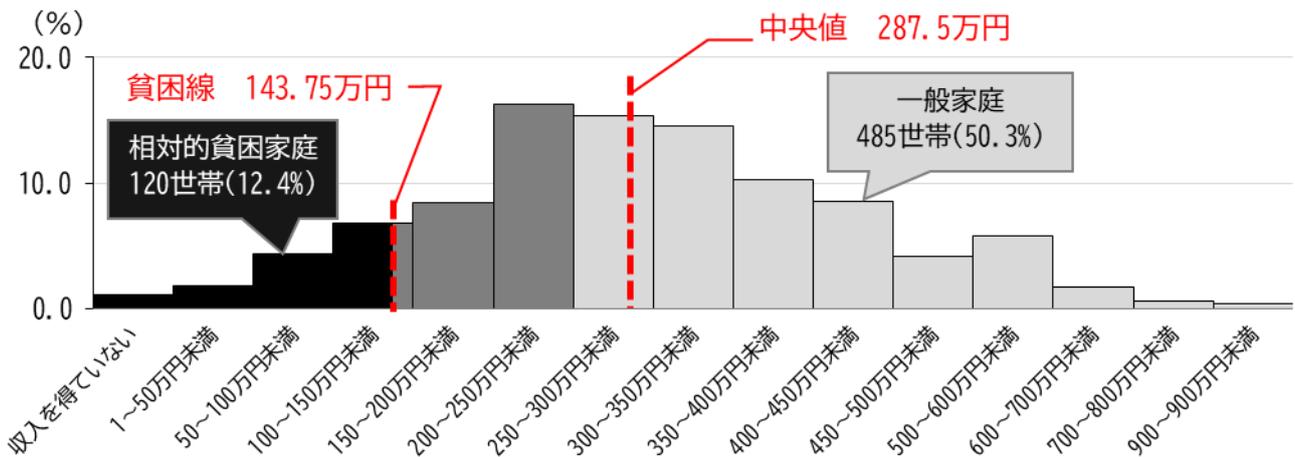
5 調査結果：経済状態に基づく分析

本章では、両調査を横断するかたちで、経済状態に基づく分析結果を示す。

(1) 相対的貧困家庭の推定

- 就学前児童、小学生～高校生等の保護者に対するアンケート結果を合わせ、本市における相対的貧困世帯の推定を行ったところ、貧困線は143.75万円、貧困線を下回る相対的貧困世帯は12.4%となった。なお、分析対象は世帯年収及び同居人数の回答があった976世帯である。
- 貧困線とは、世帯収入を世帯人員の平方根で調整した所得（等価世帯収入）の中央値（所得を多い順に並べた時にちょうど真ん中に来る値）の半分の値とした。OECDにおける可処分所得の計算式を世帯収入に置き換えている。
- 以降では、94図表233の分類で分析を行う。

図表 233 等価可処分所得と相対的貧困家庭の推定



図表 234 相対的貧困家庭等の分析の分類

相対的貧困家庭	貧困線以上中央値未満の世帯	中央値以上の家庭
等価可処分所得が 143.75万円未満の世帯	等価可処分所得が 143.75万円以上287.5万円未満の世帯	等価可処分所得が 287.5万円以上の世帯

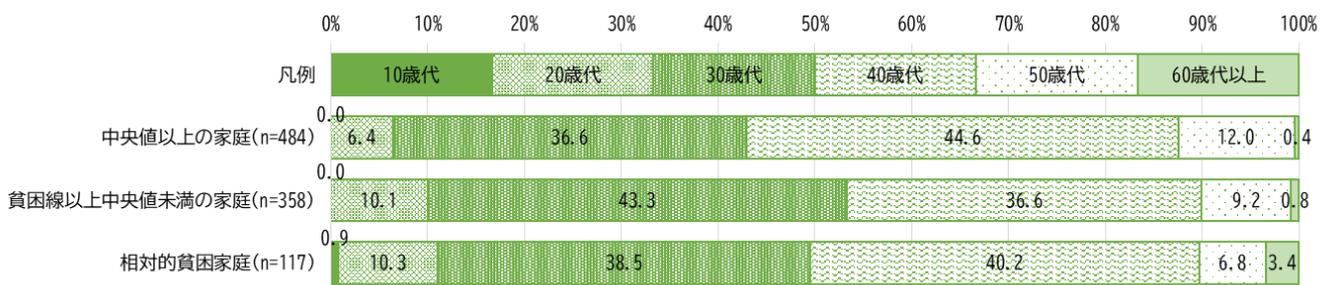
(2) 回答者属性と子育ての状況

- 相対的貧困家庭では、配偶者がいない割合が40.0%である。また、10～20歳代の割合が11.2%で比較的高い。
- 相対的貧困家庭の回答者のうち、70.1%が小諸市に10年以上居住している。
- 子育てを主に行っている人の割合では、「主に母親」が63.9%で最多である。

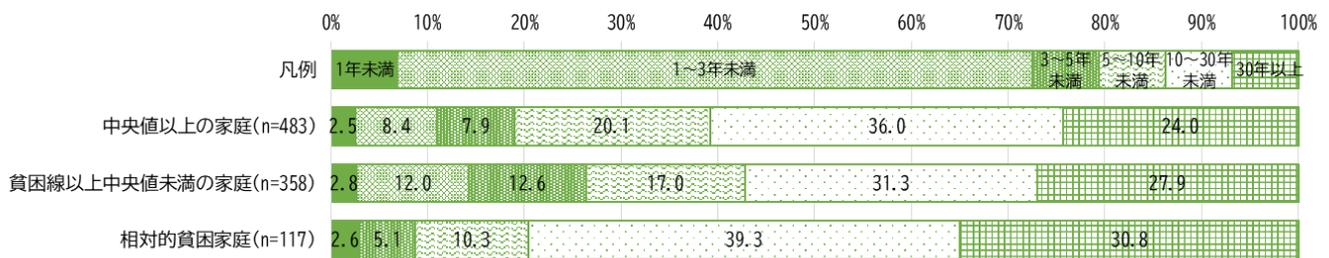
図表 235 配偶者の有無



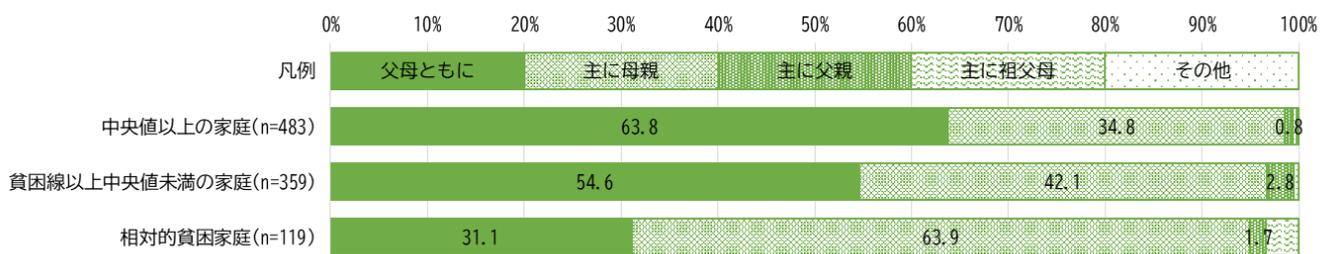
図表 236 年齢



図表 237 小諸市の居住年数



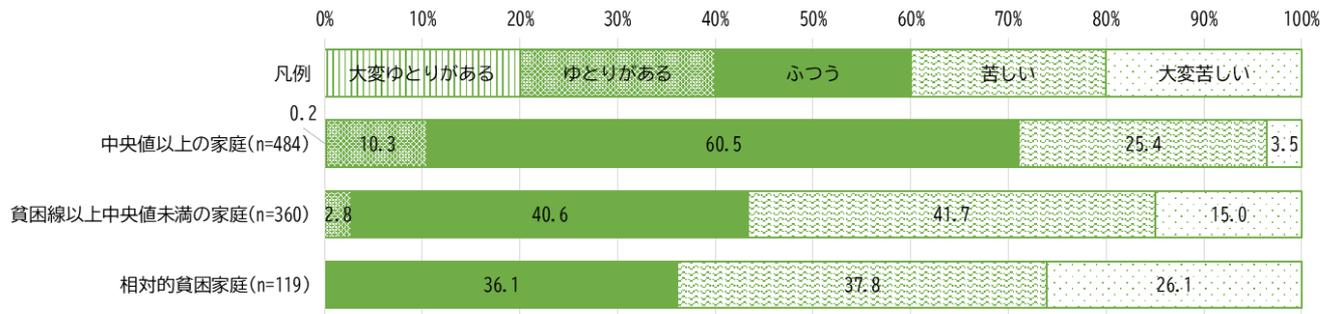
図表 238 子育てを主に行っている人



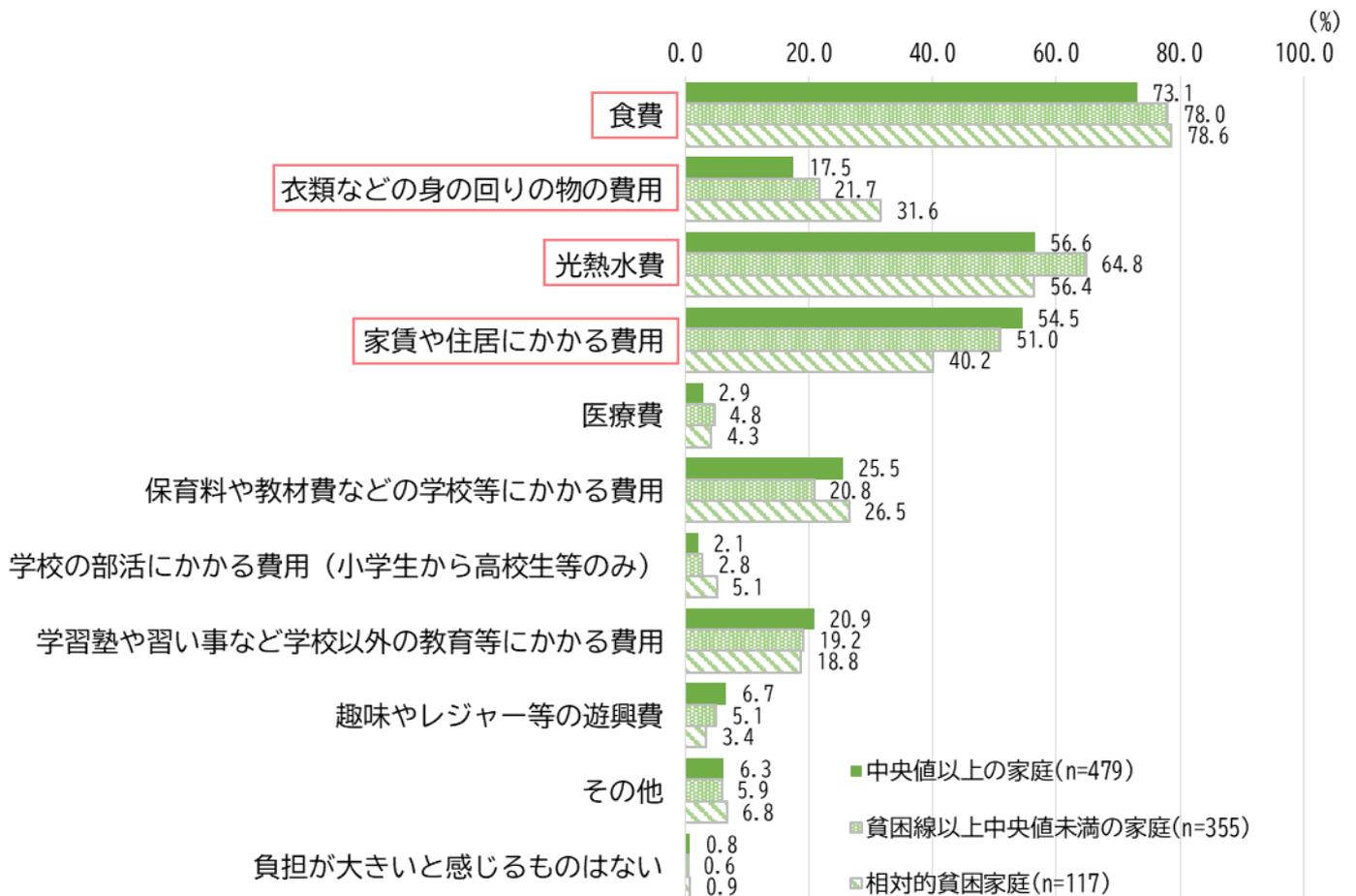
(3) 経済状況

- 暮らしにゆとりがあるかを尋ねると、貧困線以上中央値未満の家庭の 56.7%、相対的貧困家庭の 63.9%が、「苦しい」または「大変苦しい」と回答した。
- 負担が大きいと感じる支出としては、いずれの場合も「食費」と答えた人の割合が7割を超えて最も高く、次いで「光熱水費」、「家賃や住居にかかる費用」である。
- 相対的貧困家庭が、それ以外の家庭に比較して特に高い割合で挙げたのは、「衣類などの身の回りの物の費用」である。

図表 239 暮らしにゆとりがあるか



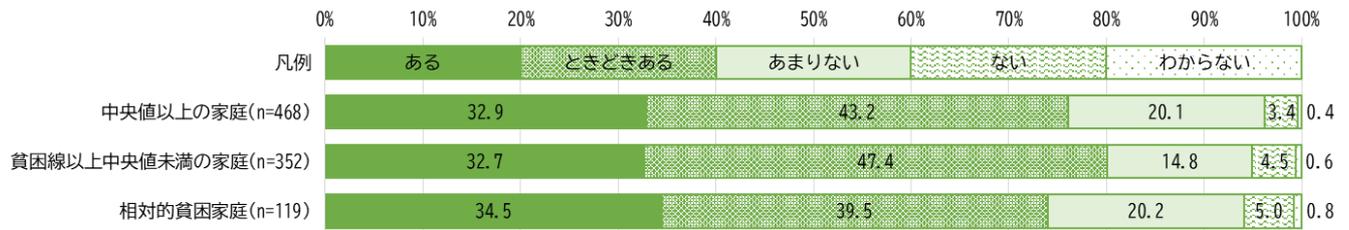
図表 240 負担が大きい支出（複数回答）



(4) 悩み・不安と相談先

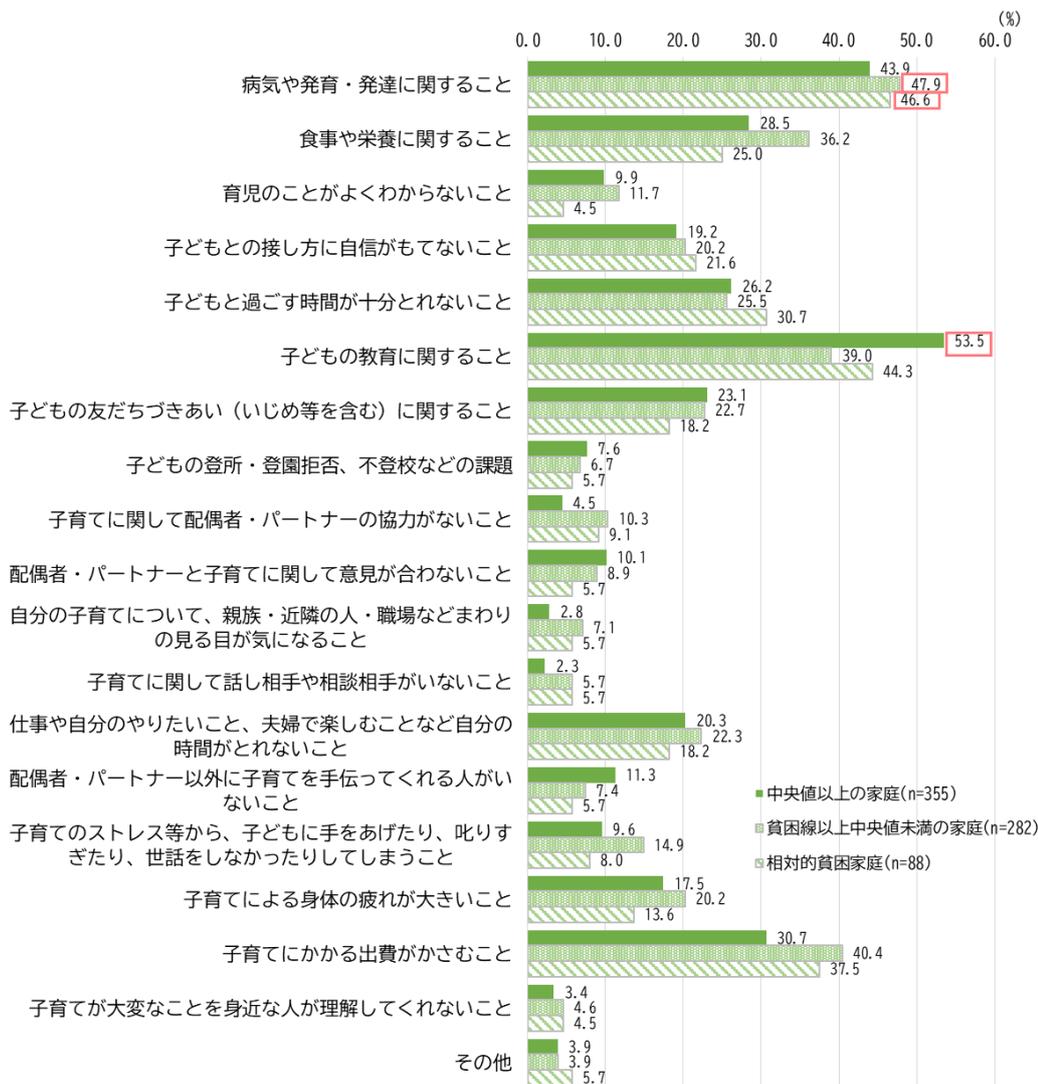
- 子育てをするうえで悩みや不安が「ある」または「ときどきある」と答えた人の割合は、貧困線以上中央値未満の家庭で高く 80.1%である。
- 悩みや不安の内容をみると、貧困線以上中央値未満の家庭及び相対的貧困家庭では「病気や発育・発達に関すること」の割合が最も高いのに対し、中央値以上の家庭では「子どもの教育に関すること」が最も高い。

図表 241 子育てをするうえで悩みや不安があるか



回答対象者：「ある」または「ときどきある」と回答した人

図表 242 悩みや不安の内容

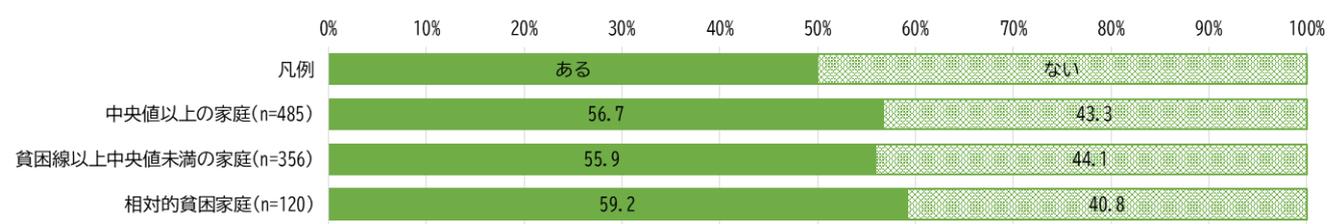


- 気軽に相談できる人が「いない」と答えた人の割合は、貧困線以上中央値未満の家庭で最も高く 12.5%であった。
- 気軽に相談できる場所が「ない」と答えた人の割合もまた、貧困線以上中央値未満の家庭で最も高く 44.1%であった。

図表 243 気軽に相談できる人がいるか



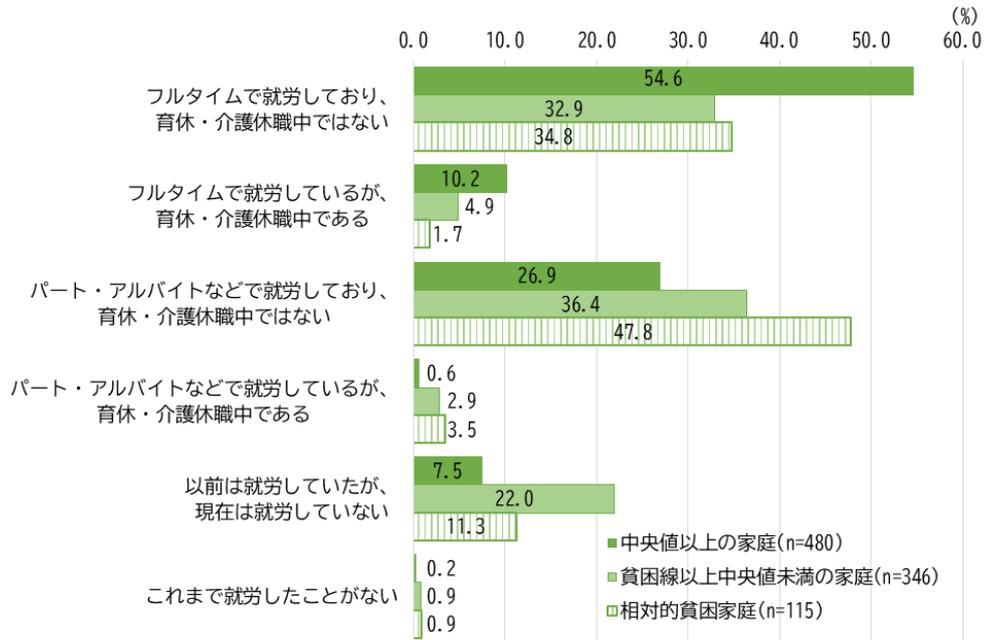
図表 244 気軽に相談できる場所があるか



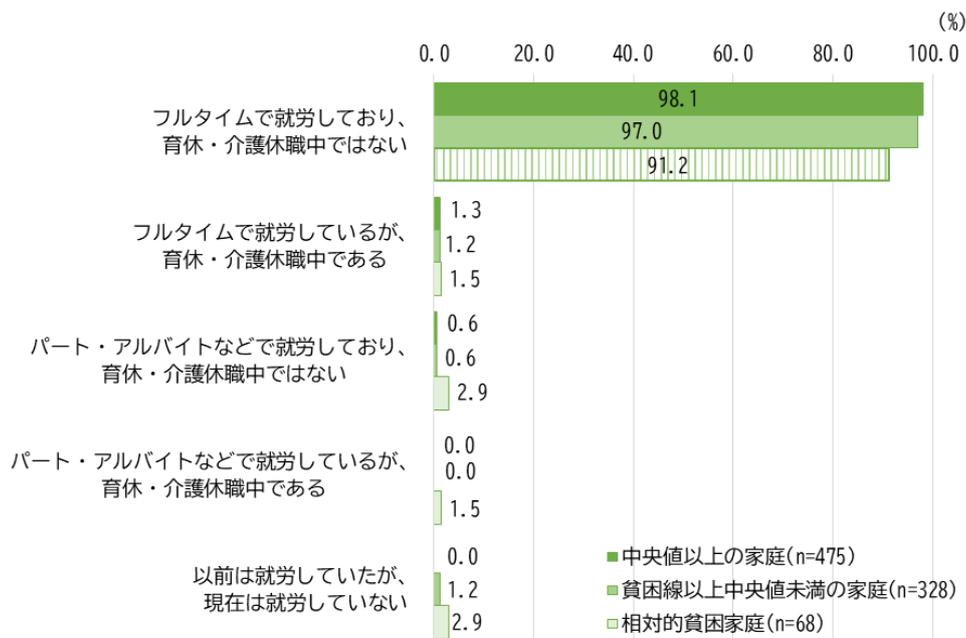
(5) 両親の就労状況

- 相対的貧困家庭では、母親は「パート・アルバイトなどで就労しており、育休・介護休職中ではない」場合が最も多く、47.8%である。
- 父親は、いずれの場合も9割以上がフルタイムで就労しているが、中央値以上の家庭、貧困線以上中央値未満の家庭、相対的貧困家庭の順に、その割合が低くなっている。

図表 245 母親の就労状況



図表 246 父親の就労状況



(6) ヤングケアラー

- 「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、中央値以上の家庭で高く、「言葉も内容も知っている」と「言葉は聞いたことがある」を合わせると87.8%である。

図表 247 「ヤングケアラー」という言葉の認知度



(7) 子育て全般

- 小諸市における子育て環境・支援への満足度が「低い」「やや低い」と答えた人の割合は、相対的貧困家庭で最も割合が高く、47.9%である。

図表 248 小諸市における子育て環境・支援への満足度

